

平成25年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 第66回全国高等学校バスケットボール選手権大会

男子 1回戦

初芝橋本 60

(和歌山) ●

84 尽誠学園

○ (香川)

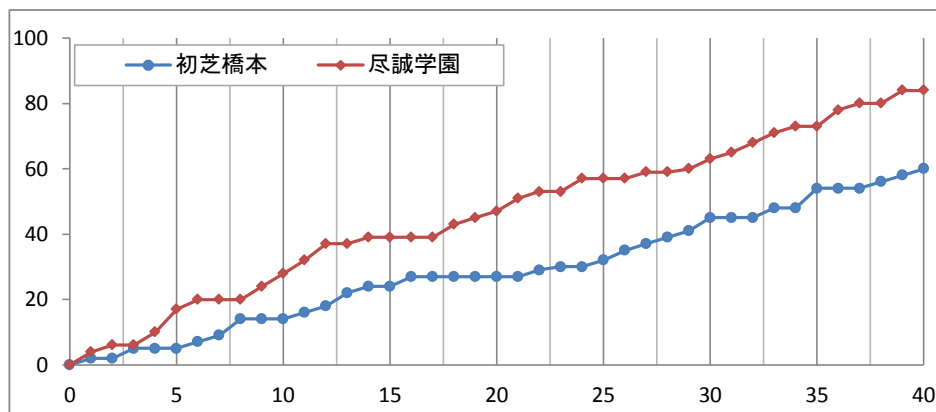
主審 安藤 剛

副審 石嶺 良方

No. 29a5

日時: 2013年7月29日(月) 16:10

会場: ベっぷアリーナ



初芝橋本

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 高井 和樹 (C)	12	0	4	4	2
5	松末 大空	0	0	0	0	0
6	* 池中 光男	8	2	1	0	0
7	* 箕谷 桂助	26	5	5	1	4
8	* 井上 魁徒	4	0	2	0	1
9	西 翔大	2	0	1	0	1
10	山本 浩太	0	0	0	0	1
11	* 根来 達也	2	0	0	2	3
12	下村 万里	6	0	3	0	1
13	宮堂 友佑	0	0	0	0	0
14	今木 悠也	0	0	0	0	0
15	森下 雄也	0	0	0	0	0
コーチ	石橋 隆文					
合計		60	7	16	7	13

尽誠学園

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 篠原 敏希 (C)	18	0	8	2	0
5	出口 琢也	0	0	0	0	0
6	* 前山 卓矢	18	1	7	1	4
7	高橋 龍斗	8	0	4	0	1
8	* リンダーライアン雅輝	14	0	7	0	2
9	* 近石 泰成	10	2	2	0	1
10	竹内 龍一郎	0	0	0	0	0
11	* 小谷 健太	5	0	2	1	2
12	松尾 季風	0	0	0	0	0
13	濱田 貴流馬	2	0	1	0	0
14	奥田 真大	2	0	1	0	0
15	葛原 海都	7	1	2	0	5
コーチ	色摩 拓也					
合計		84	4	34	4	15

* …スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦評

静かな立ち上がりが見えたが、尽誠学園がハーフのマンツーマンからいきなりプレスDefを仕掛け、初芝橋本のミス誘い先取点を挙げた。その後も尽誠学園は#4のペネトレイトからチャンスを作り連続得点を挙げた。立ち上がり緊張していた初芝橋本は、#4を軸に攻め、#6の3Pで少しペースを取り戻したが、尽誠学園が#4のペネトレイトや#7のスティールなどで連続得点を挙げ、5-14となりたまたま初芝橋本が5分19秒タイムアウトをとった。ここで初芝橋本は1-2-2のゾーンに切り替え、ここからしばらく一進一退が続いた。初芝橋本#7の3Pで初芝橋本に行きかけた流れを尽誠学園#8のOffリバウンドや#6の速攻などで28-14と尽誠学園がリードして第1ピリオドを終えた。第2ピリオドもゾーンDefを続ける初芝橋本は、#7のスティールからの速攻や#10のスクリーンを利用した#4のプレイで得点を重ね、残り4分までは一進一退を繰り返した。しかし尽誠学園は、厳しいDefと#8の攻守にわたるリバウンドや#11の活躍で終盤はリードを広げ、前半は47-27で尽誠学園がリードして折り返した。

立ち上がり尽誠学園#6がスティールし、#4の速攻につながった。その後も速攻やアーリーOffにより尽誠学園は追加点を重ねた。初芝橋本もスピードのある連続した攻めを見せるがなかなか得点に結びつかない。その中で初芝橋本は#7の3Pやカットイン全員の厳しいマンツーマンDefで尽誠学園のOffをこぼらせ、24秒オーバータイムを誘うなど初芝橋本は気持ちを切らせることなく、終盤には連続得点を挙げ45-63と点差を詰めて第3ピリオドを終えた。第4ピリオドでは、尽誠学園はスピードを控え、ハーフコートOffを丁寧に繰り返した。一方初芝橋本は、#7の連続3Pなどで追いついたが、尽誠学園は#13のペネトレイトや#9の3Pで追従を許さない。初芝橋本は最後まで粘り、後半は互角の戦いをしたが、前半のビハインドが最後まで響き84-60で尽誠学園が勝利した。

記者	内田 保博 (所属) 大分県バスケットボール協会
----	--------------------------